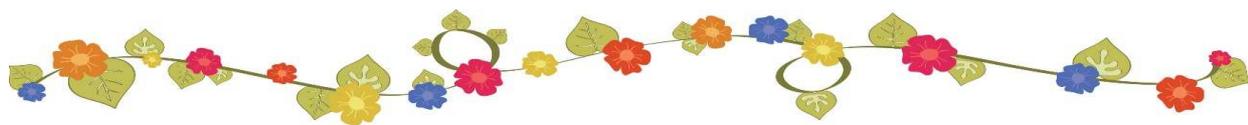


リウマチセンターだより



リウマチ友の会栃木支部 40周年記念支部総会・大会で講演しました。

平成26年6月29日リウマチ友の会栃木支部 40周年記念支部総会・大会が開かれました。くしくも、40年前の昭和49年6月29日に当院の整形外科教室 星野孝先生の元で、リウマチ友の会栃木支部が公式に発足したそうです。不思議な縁を感じます。

初めに当リウマチセンター長の玉井和哉先生が、「最近のリウマチ治療」について講演されました。リウマチの診断基準の変化や、最新の生物製剤について、会場の皆さんは熱心に耳を傾けていました。次に私、前澤玲華が「血液検査値の見方」について講演しました。さまざまな質問が寄せられて、関心の高さが伺えました。次に当院リハビリテーション科の島袋久弥先生から「関節リウマチのリハビリテーション」についての講演があり、参加者みな実際に机の横にたって、明日から実践できるようなリハビリテーション運動を行いました。最後に栃木支部長の尾崎 凱子様から「自助具の賢い選び方、使い方」の講演がありました。多少不自由があっても楽しく生活しようという意気込みが感じられて、私まで楽しい気持ちになりました。

記念すべき会に講演の機会を与えていただき、ありがとうございました。我々もみなさまの熱意を胸に、明日からの診療に励みたいと思います。 リウマチセンター前澤玲華



～お知らせ～

患者様向けの医療講演会が複数あります。
是非ご参加ください。

① 難病フォーラム

日時：平成26年10月26日 10:00～

場所：宇都宮 ホテルニューイタヤ

② 全国膠原病フォーラム

日時：平成26年10月19日 12:30～

場所：東京 一橋大学一橋講堂

Q 関節リウマチと診断されました。リウマトレックスが始まりましたが、どことなくすりでしょうか。

A 関節リウマチのアンカードラック(とても重要な薬)です。

痛みをとるだけではなく、疾患の活動性を低下させて関節破壊の抑制効果もあります。間違えて毎日内服すると強い副作用が出るので、指示通りに正しく内服しましょう。また風邪をひいて熱や下痢があるときは、副作用が強くなるので、内服しないようにしてください。

内服で不安なことがありましたら、外来もしくはお薬相談にお問い合わせください。